

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	大道具実習A	授業形態 / 必・選	実習	必修
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	80回(160単位時間)	年間単位数 5単位
科目設置学科コース	<<音楽芸能スタッフ科>> 舞台製作コース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>			
担当講師 実務経歴	実務経験:38年 大道具会社を経て 現在国内アーティストのドームツアーを手掛けている大道具スタッフ			
授業概要				
木工道具・電動工具の扱い方について学ぶ。 危険が伴うので、慌てず急がず反復練習を行う。				
到達目標				
ミリ単位で製作する高度な技術の習得。				

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	基本工具説明、レベル確認
【前期】 11～20回目	木工道具を使用した大道具作成 ・ナグリ ・巻尺 ・糸鋸
【前期】 21～30回目	・釘、タッピングネジ
【前期】 31～40回目	電動工具を使用した大道具作成 ・インパクトドリル ・丸鋸 ・ジグソー
【後期】 1～8回目	・サンダー・ボール盤 ・エアコンプレッサー
【後期】 9～16回目	・リノリウム敷き込みの練習 ・リノテープ(弱粘着ビニールテープ)を使用してのリノリウム貼り
【後期】 17～24回目	・リノリウム巻の練習(10908×1818Size)
【後期】 25～32回目	・9×9山台作成(平台・箱馬使用)
【後期】 33～40回目	・3×6パネル吊り込み
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	スタッフとして相応しい格好(スニーカー・黒ズボン・黒Tシャツ/トレーナー) 支給iPad・必要工具(LEDライト・ビニールテープ・マジック類)クリップボード持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	舞台進行・舞台製作講座	授業形態 / 必・選	講義	必修	
		年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	82回(164単位時間)	年間単位数	10単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 舞台製作コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験:10年 大道具会社～舞台監督経験を経て、フェスやイベントの舞台進行に従事。				
授業概要					
事前準備、念入りな作業等、舞台監督に必要とされる全ての知識の学習。					
到達目標					
舞台監督としての現場での判断力、本番時のスムーズな進行のノウハウの習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	進行表の作り方 ・各セッションがスムーズに進行できるように全体を考慮した資料作成 ・イベントタイトル
【前期】 11～20回目	進行表の作り方 ・日時 ・内容
【前期】 21～30回目	進行表の作り方 ・会場打合せ ・消防申請
【前期】 31～40回目	進行表の作り方 ・リハーサルまでの進行・準備物 ・ゲネプロの進行・準備物
【後期】 1～8回目	ツアーの動き ・トランスポートへの積込み ・搬入順番 ・仕込み作業順
【後期】 9～16回目	ツアーの動き ・バトン昇降時の注意点 ・音出し時の注意点 ・シュート時の注意点
【後期】 17～24回目	ツアーの動き ・トランスポートへの積込み ・各導線の確保
【後期】 25～34回目	ツアーの動き ・撤収時の流れ(バラウチ) ・ステージハンドの振り分け～使い方
【後期】 35～42回目	ツアーの動き ・冷静な判断力・決断力を養う ・より多くの現場に参加して「実践」で学習する。
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	支給i-Pad持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	舞台制作実習Ⅱ-A	授業形態 / 必・選	実習	必修	
		年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	84回(168単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 舞台製作コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当				
担当講師 実務経歴	実務経験:36年 大道具会社～舞台監督会社を経て、現在海外アーティストを含む数多くのアーティストの全国ツアーを手掛けている舞台監督。				
授業概要					
学外ホールの舞台躯体を使用し本来のコンサート・ライブ環境で実習トラスの昇降や吊物の各種取扱い方法について学ぶ。					
到達目標					
学外ホールの舞台躯体を使用し本来のコンサート・ライブ環境で実習トラスの昇降や吊物の各種取扱い方法について学ぶ。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	吊り物 ・吊り物の仕込み方 ・振り落とし、舞台演出の効果と仕込み方
【前期】 11～15回目	吊り物 ・ロープ／ワイヤーの結び方
【前期】 15～26回目	トラス関係 ・トラスの組み方 ・スリングの掛け方(チョーク／ブライダル等)
【前期】 27～40回目	トラス関係 ・トラスの組み方 ・平台を併用した舞台設営
【後期】 1～8回目	鉄骨部材の扱い方-足場組 ・9X9Dr.台の組み方(含む6X9へのアレンジ) ・OC用6X9Dr.台の組み方
【後期】 9～16回目	平台組 ・3X6／3X3／1.5X3での台組アレンジ
【後期】 17～24回目	ライブ実習使用製作物の仮組み ・各外部ホール会場に合わせた仕込み方
【後期】 25～34回目	バトン操作 ・操作実習(外部ホール)
【後期】 35～44回目	ライブ実習 ・事前準備、搬入、仕込み、進行、撤去、撤去(外部ホール)
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	スタッフとして相応しい格好(スニーカー・黒ズボン・黒Tシャツ/トレーナー) 支給iPad・必要工具(LEDライト・ビニールテープ・マジック類)クリップボード持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	大道具実習B	授業形態 / 必・選	実習	必修	
		年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	80回(160単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	<<音楽芸能スタッフ科>> 舞台製作コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験:38年 大道具会社を経て 現在国内アーティストのドームツアーを手掛けている大道具スタッフ				
授業概要					
「企画イベント」の大道具の作成 イベントパネル・小道具・持ち出し道具の作成					
到達目標					
完成度の高い技術力の習得					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	各自「箱馬」の作成
【前期】 11～20回目	クラスで「平台」(3×6Size)の作成
【前期】 21～30回目	企画イベント①の 準備・製作
【前期】 31～40回目	スチールライザーの組み方
【後期】 1～8回目	アルミトラス(300角)を使用したパネルの組込み
【後期】 9～16回目	企画イベント②の 準備・製作
【後期】 17～24回目	吊り看板のセットアップ方法
【後期】 25～32回目	企画イベント③の 準備・製作
【後期】 33～40回目	ホールにて 大黒幕・紗幕・引割幕・ジョーゼット幕の吊り方
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	スタッフとして相応しい格好(スニーカー・黒ズボン・黒Tシャツ/トレーナー) 支給iPad・必要工具(LEDライト・ビニールテープ・マジック類)クリップボード持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	舞台制作実習Ⅱ-B		授業形態 / 必・選	実習	必修
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	84回(168単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 舞台製作コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験:37年 大道具会社～舞台監督会社を経て、現在海外アーティストを含む数多くのアーティストの全国ツアーを手掛けている舞台監督。				
授業概要					
舞台業界標準となっている図面アプリケーション『Vector works』の利点と操作方法を学ぶ。					
到達目標					
迅速に舞台図面を作成・修正対応できる技術の修得。 企画ライブの舞台図(平面図・立面図・断面図)を3Dで作成出来る技術の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	PCソフト『Vector works』(2D基本編) ・各自思い思いの絵を描いてツールを使う練習 ・線のひき方 ・テキストの入れ方
【前期】 11～20回目	PCソフト『Vector works』(2D基本編) ・ツールを使用してシンボルを作成 ・縮尺について ・寸法の割り出し
【前期】 21～30回目	PCソフト『Vector works』(2D基本編) ・用紙設定について ・グリッドの設定について ・配列複製について ・原点指示について
【前期】 31～40回目	PCソフト『Vector works』(2D基本編) ・整列・画面登録 ・見本に合わせて仕込み図を作成 ・図面の取り込み・トレース ・課題製作
【後期】 1～8回目	PCソフト『Vector works』(3D応用編) ・シンボル図形のテンプレート化 ・ハイブリッドシンボルの登録 ・文字列、プラグインオブジェクトについて ・グループ図形、ワークシートの作成
【後期】 9～16回目	PCソフト『Vector works』(3D応用編) ・シートレイヤー ・各ホール図面(3D)の作成 ・各シンボルを使用して3D図面の作成
【後期】 17～24回目	PCソフト『Vector works』(3D応用編) ・応用[舞台図面(平面図・正面図・側面図・読み方・書き方)] ・応用[図面から劇場毎の違いを読み取る]
【後期】 25～32回目	PCソフト『Vector works』(3D応用編) ・応用[テーマを元に複数の劇場毎に図面を落とし込む] ・応用[図面からアリーナ・劇場の違いを読み取る]
【後期】 33～44回目	PCソフト『Vector works』(3D応用編) ・応用[テーマを元に複数の劇場・アリーナ毎に図面を落とし込む] ・ツアー(ホール)における図面の描き方 ・ツアー(アリーナ)における図面の描き方
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	支給i-Pad持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	舞台製作実地演習Ⅱ	授業形態 / 必・選	演習	必修
授業時間	180分(1単位時間45分)	年次	2年次	
科目設置学科コース	180分(1単位時間45分)	年間授業数	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	<<音楽芸能スタッフ科>> 舞台製作コース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。			
授業概要				
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。				
到達目標				
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。 イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。 企画、立案、進行等、インプット・アウトプット能力の向上。				

授業計画・内容	
1～2回目	学生コンサート・ライブ実習①② 各セクションの作業内容、タイムテーブル、関連性を学ぶ
3～4回目	外部コンサート・ライブスタッフ研修 ①屋内会場 ②屋外会場
5～6回目	学園祭準備①②
7～8回目	学園祭①②
9回目	学園祭片付け、原状回復
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	この演習を通じて、現場における流れや、他社とのコミュニケーションの仕方等確りと学んでください。
使用教科書	当日の役割分担表、業務要項等を配布